めざす子ども像 **郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標 **校区の自然・歴史・文化等の良さを知り、様々な体験活動や地域の方々との交流を通して** 豊かな心と自主的に行動する力を育てる

今年度の取組紹介

ふれあい広場 2019

中学校区の園児から中学生までが一つになれる行事として「ふれあい広場 2019」が今年も開催されました。午前中は、各学校園の文化的な取り組みの場として中学校の体育館にて発表を行いました。柳生こども園の子どもたちによる歌と表現、柳生小学校児童による歌やリコーダー奏、そして興東小学校の児童による歌・ダンスなどみんな大きな声で歌い舞い、一所懸命で生き生きとした発表は会場の方々を満面の笑顔にしました。また中学生は1.2年生が筝・歌を披露し日ごろの学習の成果を発揮しました。全校生徒で取り組んだ伝統芸能「大柳生太鼓踊り」は2年生が大柳生太鼓踊りの説明、1年生が口上を読み上げ、3年生は、歌・笛・鉦・太鼓・踊りすべてを今年は生徒たちが演じ、参加された地域の方々を魅了し大きな感動を与えました。午後からは、奈良市野外活動セ





ンターへ会場を移し、地域産品の販売や将棋・オセロゲーム、宝釣りやビンゴゲームなど地域の 方と子ども達のふれ合いの場となりました。子どもたちが地域の中で生き生きと成長していく様 子そのものが、地域みんなの楽しみでもあると実感した一日でした。

今年度のまとめ

今年度も地域の皆様方の協力により「ふれあい広場 2019」が開催されました。園児から中学生までの発表や、地域の方と一緒にゲームなどを行うことで、地域の方々からは「元気をもらうことができました。」「毎年楽しみにしています。」といった感想がよせられています。大柳生太鼓踊りは、踊り保存会、地域の皆様方の暖かいご指導のもと本番を迎え、毎年毎年違った感動が生まれるように思います。この他にも夏休みに開催された、望遠鏡を覗いて土星や火星・木星などの天体観察やトールペイントなどは親子一緒に活動できる場としても大盛況でした。

来年度に向けて

今年の取組をより一層魅力的な内容とするため、学校園と地域との連携をさらに密にし、協働しながら企画運営していくことが必要です。また地域全体に浸透させ、新しい人材の育成、さらに地域が主体的に行事に取り組めるよう広報活動の充実を図ることも大切な取り組みとなります。

めざす子ども像 **郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標 故郷を愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

【今年度の取組紹介】

~いつまでも美しい白砂川~~

豊かな自然の中で、地域人材を活かした多彩な体験学習を進めてきました。また地域の自然や伝統文化などの本物にふれる体験を通し持続可能な社会活動について考える取り組みも行っています。昨年度は大雨のため、出来なかった白砂川の河川調査、今年度は大柳生町環境保全向上組織の皆さんと高校の生物の先生を招聘して9月9日に実施しました。

川の生物を調べることを河川調査といいますが、川の汚れは指標となる生物調査を行うことで4段階(きれい・ややきれい・汚い・大変汚い)に分類します。

今年の結果は、水質階級Ⅱ(やや汚い水)でした。やや汚いという評価ではありますが、それは生き物がたくさん暮らす豊かな水であるということです。

ホタルの里として有名な白砂川、これからも美しいこの川を未 来に残すために、地域の方々と一緒になって自然環境の観察を続 けることで環境保全に努めていきたいです。



【今年度のまとめ】

上記の他にも、「自分で浴衣を着よう」と家庭科和装の授業、そば打ち体験などの体験学習や伝統 文化を学ぶ木剣体操や大柳生太鼓踊りのなど、地域の方々の支援により生徒達の学びは広がってい ます。これらの活動を通して人とのつながりの大切さを実感し、そして何より地域の方の熱心な姿 は、生徒が主体的に学ぶ力を自然と引き出させてくれています。

【来年度に向けて】

少人数を生かした全校体制の取組が本校の特徴でもあります。来年度もこの利点を生かしつつ 地域人材を活かした体験学習など、より一層積極的に進めていきたいと思います。また、あらゆ る機会において地域の方々に本事業の取組を伝えることで、更なる協力体制につなげていきたい です。

めざす子ども像 郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

地域の特色を生かした体験的な活動を多く取り入れる中で、 「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」を育成する。

【今年度の取組紹介】

1、柳生の伝統を体験的に学ぶ

柳生は「剣聖の里」として知られています。春は竹刀を用 いた木剣体操に取組み、子どもたちは剣道を通して先人から 引き継がれてきたことを体験的に学んでいます。105 回目を 迎える柳生地区大運動会では、今年も木剣体操を地域や保護 者に披露しました。柳生剣友会や保護者のご協力による秋恒 例の「剣道大会」は、49回目になります。防具のつけ方・作 法を一から教わり、稽古や試合に挑む経験は、きっと子ども たちの人生の中で活かされる場面があると考えています。

2、学んだことを伝えた学習発表会

今年も学習発表会で、一年間の体験・見学学習で学んだこ とを、各学年でまとめ、地域・保護者の方々に伝えました。 2年生は「町探検」で訪れた柳生の町の名所や郵便局・お店 などについて、自分の感想を交え発表しました。本年度はコ ミュニティースクール導入一年目ということで、中学校区の 学校運営協議会委員の皆様にも参観していただきました。



気を引き締めて防具装着



柳生の名所「一刀石」の説明

【今年度のまとめ】

剣道以外にも、柳生ゲストティーチャー (YGT) を招き「茶工場見学・茶摘み体験」「米づくり 体験」「いちご農家体験」「闘茶会」「柳生焼体験」「炭焼き体験」「柳生歴史教室」等、地域にゆかり のあるさまざまな学習活動を展開しました。地域の方による、地域を知る充実した内容の体験学習に より、子どもたちは自らが住む地域の魅力を味わうことができました。

【来年度に向けて】

- ・地域人材の更なる発掘や若い世代への協力を要請し、現在の取組を深化させていきたいと思います。 そのために、本事業の計画や目標等を、保護者や地域の方々により理解していただくため、学校便り やホームページ更新を継続して行っていきたいです。
- ・興東館柳生中学校として統合5年目になり、中学校区で協力し合い「ふれあい広場2019」を開 催しました。今後、地域の方・教員・保護者の連携の場を組織的に設けるなど、企画運営方法を工夫 し、関係者の共通理解を図り、地域の和も深められる有意義な取組にしたいと考えています。

|めざす子ども像 郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようと する子ども

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、 子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実をはかる。

今年度の取組紹介

地域の方々との出会いを大切にし、地域の教育力をお借りして、本 校教育を推進しています。なかでも"もち米作り"を昔ながらの農法 で行い、米に関わる様々な体験学習を今年度も実施しました。田おこ し、田植え、稲刈り、脱穀と年間を通して地域の方々に支援していた だき"しめ縄づくり""大とんど"までの活動を今年度も盛大に実施 できました。本校にとってこの米作り体験は、地域で学ぶ体験学 習事業の軸となる取り組みです。昨年度から低学年の"燻炭イモ 作りの体験や、6年生の歴史遺産学習として、校区にある国宝を 持つ円成寺を訪問しています。また4年生の白砂川でのニジマス の放流体験。3年生の蜜蝋でのろうそく作り体験等々、それぞれ 本校校区の地域の方々のご協力あってのたまものであると感謝し





今年度より、教育活動支援事業(学力向上事業)として、英会話教室を実施しました。学校にほ ど近い古民家にオランダ人ご夫婦が越してこられ、興東小学校学び舎英会話教室の講師をお願いし ました。子どもたちの学びの場が、またひとつ増えました。

今年度のまとめ

ています。

本年度も地域教育協議会との連携の下「ふれあい広場2019」の開催を含め、地域の方々の熱心 な支援・協力のもと学校としての取組も順調に進めることができました。「たくさんのお客さんの前 で発表して、大きな拍手をもらいとてもうれしかった。」という児童の作文からも、地域の思いや願 いを知り、感謝の気持ちを表現し、学校に対する地域の方々とのつながりがさらに深まった様子がう かがえました。

来年度に向けて

校区から得られる人の温かさ、地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを学 び、郷土のことを誇れる児童に育てていきたいと考えています。そのために、校区の歴史や伝統・ 産業を学び、先人の知恵や思いに触れ、体験を通して感性を育てていきたいと考えます。また、次 年度も、これまで行ってきた活動を糧に、地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる 豊かな心を大切にし、学校・地域の実情に合わせた取組を考えて、地域との絆をさらに強固たるも のにしていきたいと思います。

めざす子ども像

郷土に誇りをもち、自らの夢をかなえようと する子ども

取組目標

自然や地域の人との関わりを通して、豊かな心を育み主体的に活動に取り 組もうとする態度を育成する。

【今年度の取組紹介】

地域の特色を活かした伝統文化や歴史に触れ親しむ経験や、地域の方に『地域の先生』として来ていただいての様々な体験活動を計画的に取り入れ、園と地域が一体となっての取り組み活動ができました。

○菜園活動

・畑の先生として地域の方から、その時期のいろいろな野菜苗や種のまき方を 教わってきました。秋には、『収穫祭クッキング』を行い、地域の方を招い て、とれた米とさつまいもを使い、おにぎり、豚汁にしていただきました。

○藍染め体験

・T シャツとバンダナに、ビー玉や割りばしを使い輪ゴムでしばり、藍に染めると、綺麗に模様が出来ました。出来上がった T シャツを着て、運動会や『ふれあいひろば 2019』 に参加しました。



○柳生焼体験

・土をこね、ひも状にして積み重ねていき器の形に仕上げました。 重ねた所が薄くならないように伸ばしていくことが、難しかったようです。 できた器をつかって、地域の先生に教わり茶道体験をしました。



【今年度のまとめ】

地域が一体となっての取り組みを継続していたことで、子ども達は園の教育活動では経験できないたくさんの人との出会いと交流ができ、自然と人と人とのつながりができていきました。いろいろな経験を通して、認めてほめてもらえる事は、子ども達の大事な育ちの根源であり、少人数の園であるからこそ大事に育みたい思いやり、認め合い、たくましさに繋がっていく取り組みであるとこれらの活動を通して実感しています。また、地域の方の温かいまなざしとご理解・ご協力により実践できたことに深く感謝をしています。

【来年度に向けて】

地域全体で少子化が進み利用園児が減少する中で、本園が担う課題は大きいです。地域の中で子ども達が豊かに育つためには地域の人・もの・こと(地域資源)と触れ親しみ、顔見知りとなることで関係が豊かに広がっていきます。今年度、取り組んできた活動の成果を次年度に繋げ、地域と共に子どもの育ちや学びを大事に見つめ、活気ある豊かな地域活動をこれからも展開していきたいです。